

## 令和6年度 第3回 佐藤小学校運営協議会 会議録 (要点記録)

1. 開催日時 令和6年9月10日(火) 13時10分から15時45分まで
2. 開催場所 浜松市立佐藤小学校 会議室
3. 出席委員 尾上 弘、酒井 里江子、湯山 紀美代、磯部 栄里子、安富 小織
4. 欠席委員 伊藤 安男、一ノ瀬 正行
5. オブザーバー 欠席
6. 学 校 伊藤 千恵 (校長)、高木 康泰 (教頭)、大石 葉子 (CS担当)、  
坂倉 祥子 (CSディレクター)
7. 教育委員会 欠席
8. 傍聴者 なし
9. 会議録作成者 CSディレクター 坂倉 祥子
10. 議長の選出

尾上会長が議長を務めることを申し出、全員異議なく承認した。

### 11. 前回熟議の確認

教頭より、前回の会議録をもとに進捗状況などの報告があった。

### 12. 協議事項

- (1) 学校の抱える課題と改善策
- (2) 学校支援活動の充実について

### 13. 会議記録

司会の教頭から、委員総数7人のうち5人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

#### (1) 学校の抱える課題と改善策

議長の指示により、CS担当から別紙資料に基づき学校の抱える課題と改善策について説明があった。そのうえで取り組み実現のためにはICTが欠かせないとし、ICTがひとり歩きしないような教育活動充実のための今後の方向性について意見を求め、委員からは以下の発言があった。

**尾上委員** 持ち帰るタブレットはネット環境のない家庭でも使用可能なのか。

自己完結可能なICTを使ってどう他者と関わりを持ち、対話に繋げていくのかが課題だと感じる。また「自分の考え」をすぐにまとめることができない子もいる中で「アウトプット」ができなくとも“自分の考えがない子”と決め付けることなく、子どもの“一生懸命考える事”自体を大切に授業をしてほしい。

**磯部委員** 保護者から「不登校児童への対応」と「ICT教育の遅れ」についての声があがっている。

今後の動きに期待する一方で他校と比較し不安の声が多い現状の中、今後の流れを知りたい。

様々な質問を受け、CS担当からICTの具体的な活用例を交えた説明がなされ、委員からは以下の発言があった。

**磯部委員** 自ら発信・発言が苦手な子でもPC内に自身の意見を書き、皆と共有することで「自分の考え

をもつ」評価にも繋がっていくのではないか。

**安富委員** ICTは大変便利な一方で課題も多い。操作・仕様に様々な責任が伴う事も考えると、日々触れる必要性は感じるが、今それに固執しなくとも今後自然と使いこなせるようになると思う。ネットリテラシーに関しては今のうちから学んでいくべきではないか。

**尾上委員** 保護者の心配は当然のこと。学校側は今後の方針を出来るだけ発信していただけるとありがたい。

熟議の結果、教員のICT技能の向上を図るとともに、限られた時間の中で学校が「何を大事にし、何を教えていくべきか」を考え、ICTを「自分の考えをもつ」ことに繋げていく。また、不登校児童に関してもICTを用いてコミュニケーションをとっていくという結論に至った。

## (2) 学校支援活動の充実について

議長の指示により、安富委員から学校支援コーディネーターとその役割についての3つの課題、その具体案について説明があり、委員からは以下の発言があった。

**尾上委員** 過度な提案はお節介になるのではという懸念がある。お互いにとって良い関係が築けるよう、今後を見据えて今は方向性を一緒に考えたい。それをふまえて学校の意見や要望を聞きたい。

**校長** 例えば防犯や挨拶など、学校だけでやるより地域とタイアップしながらやれたらと考えている。限られた時間の中でまずひとつ、地域と学校を繋ぐ支援ボランティアについて具体的に考えていくことができるのではないか。

**磯部委員** 単発ボランティアに登録していても頻度や時間が合わない人もいる。需要と供給が合っていないように感じる。

**安富委員** 先生の意見がなければ動けない。以前一覽で頂いた要望を実際に動かしていった良いのか。

**酒井委員** 地域の人材確保に関して、福祉の授業に携わった経験からそこに繋げることは可能。今後高齢者が増えていく中、知識・経験をもつ子が増える事で互いに助け合えるのではないか。

**湯山委員** 不登校児童に関して、地域としてその子を孤立させないよう見守るために、差し障りのない範囲で情報をまわしていただきたい。

熟議の結果、必要なことは学校側から運営協議会へ提示していくとともに、3つの課題については解決に向け具体例をもとに進めていくこと。また、不登校児童に関して「誰か・何かと繋がっている」ということをポイントとし、地域として気にかけて見守ってく事を承認した。

熟議を重ねる中で「旗振りボランティア」への意見が多く出されたため、各自情報収集をしたうえで次回以降の運営協議会にて課題やその必要性について熟議される事となった。

## その他報告事項

次回会議は、令和6年2月6日(木)9時00分から佐藤小学校会議室で開催する旨の報告があった。また今後の学校公開、参観会・家庭教育講座・さとっこわくわくコンサートについての案内があった。